

1→10

Press Release

2017年1月27日

世界初 (※) のパラスポーツ VR エンターテインメント “CYBER WHEEL” 発表

※自社調べ

最高時速 60 キロの世界を体験できる車椅子型 VR レーサー

株式会社ワン・トゥー・テン・ホールディングス（本社：京都市、東京オフィス：品川区、代表：澤邊芳明、以下ワントゥーテン）は、パラスポーツの一つである車椅子マラソンやレースを楽しく体験できる車椅子型 VR レーサー “CYBER WHEEL” を開発いたしました。



パラスポーツの普及について現在の課題は、“自分ごと化”できていないことです。その原因は、体験会を実施できる回数が少なく、インストラクターも足りていないため、一般の人が体験する場がなかなかなく、そもそも興味を持ちづらいことにあります。

本来パラスポーツは、大変エキサイティングで激しいスポーツです。

それをエンターテインメントというかたちで伝え、体験会などを日本中で容易に実施したいという思いからこの商品を開発しました。

実際の車椅子マラソンにおいて最高速度は 60km を越えます。平均でも 35km というその速さを是非体験してみてください。

■仕様：

- ・全長：2150mm 幅 820mm 高さ 630mm
- ・重量：45kg
- ・乗車定員：1名
- ・ボディカラー：マットダークグレー、グロスダークグレー、ウレタン樹脂塗装仕上げ
- ・シート：グラスファイバー製
- ・タイヤ&ホイール：グラスファイバー製、前輪 16 インチ 後輪 26 インチ

■特徴：

- ・5つのステージを駆け抜けるタイムトライアル。
- ・車椅子型の専用コントローラーを採用。
- ・体感スピードは、世界のロードレースと同じ速さを再現。
- ・パラ選手のトップ選手のスピードを迫体験可能。

■使い方：

- ・車体に乗る、VRを装着。
- ・前傾姿勢になり、車輪についたハンドリムを手で回す。
- ・VR内の画面を進むことができる。

■商品について：

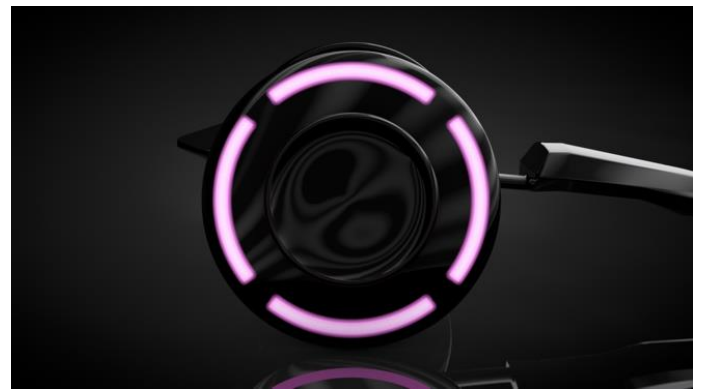
実際のロードレース用車いす「SPEED KING」を車椅子メーカー株式会社ミキサまにご提供いただき、設計の参考にしています。

機体は、FRP製のオリジナルボディ。空力等を考慮し、実際の未来の姿としての車椅子をデザインしました。

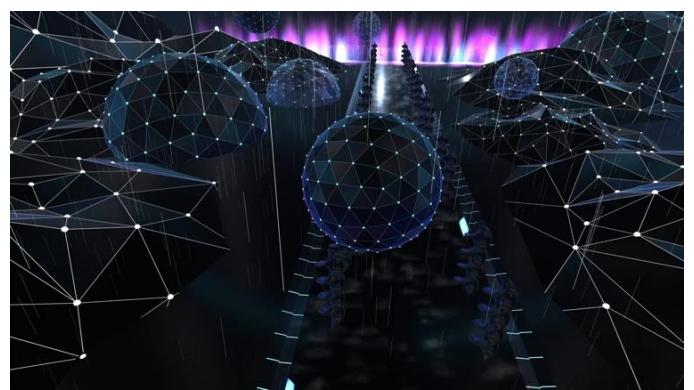
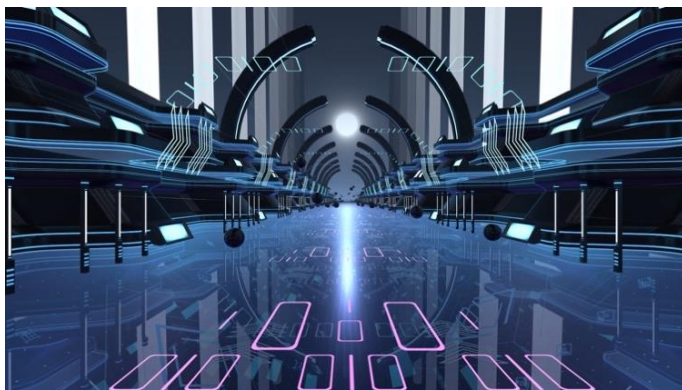
※開発を行ったのはワントゥーテン及び株式会社スポーツイズグッド（以下、SIG）です。

■備考：

小学生（12歳）以下の方は、VRの装着ではなく、モニターを見ながらのトライアルをお願いしています。



▲フロント、コントローラーとなるハンドリム



▲VR 装着時の映像

【ワントゥーテンについて】

1997年に創業された、クリエイティブスタジオ。

京都・東京・シンガポール・上海を拠点とし、広告クリエイティブ事業、ロボット/AI事業、IoT/商品プロトタイプ事業、空間演出/エンターテインメント事業の4事業を展開している。タグラインは、“IGNITE EVERYONE, UPDATE EVERYTHING”。

クリエイティブと革新的技術で人々の心に火をつけ、あらゆることをアップデートする体験を提供する。

主な実績は、ソフトバンク社が誇る、世界初の感情認識パーソナルロボット「Pepper」の人工知能・感情認識と連携した会話エンジンの開発や、バーチャル・リアリティー・ゲームの世界観を再現した「ソードアート・オンラインザ・ビギニング Sponsored by IBM」など。

これまでにグループ全体で、カンヌ国際広告祭を含む国内外の広告賞・デザイン賞を150以上受賞。2016年5月に、株式会社テー・オー・ダブリュー、株式会社ギークピクチャーズ、ワントゥーテンの共同出資により、『スポーツ』をテーマに日本を盛り上げる企画&プロデュース会社SIGを設立した。

<http://www.1-10.com/>

[本件に関する問い合わせ先]

フロントウーテン 担当：五明（東京オフィス）

電話：03-5781-3600 MAIL：pr@1-10.com